

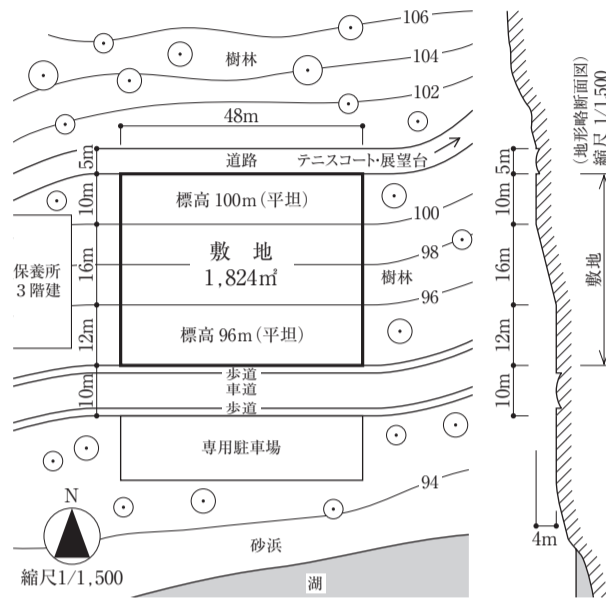
設計課題 小規模なリゾートホテル

I. 設計条件

この課題は、周辺にレジャー施設及びスポーツ施設が点在する湖畔の景勝地にリゾートホテルを計画するものである。本施設は、「車いす利用者用客室」を設け、高齢者や車いす使用者の円滑な利用に配慮するとともに、地域住民も利用する研修機能を設け、サークル活動やワークショップ等を通じ、施設利用者と地域住民との交流の場とする。また、計画に当たっては、環境負荷低減のため、自然エネルギーを利用し、快適な室内環境が得られるような設計手法(パッシブデザイン)を、積極的に取り入れるものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - 建ぺい率の限度は70%、容積率の限度は200%である。
 - 主要な屋根は、勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。また、井水の利用が可能な地域とする。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。また、敷地の造成は最小限に留めるものとする。
- 湖の氾濫、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。
この課題においての階の取り扱いは、敷地の標高100mの部分に直近の階を地上1階とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,200㎡以上、2,600㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段及び塔屋は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・テニスコート、展望台に至る北側道路へのアクセスに考慮して、出入口を設ける。			
宿泊部門	客室A (ツインルーム)	・8室(約25㎡/1室)設ける。 ・ベッド、テーブル、椅子等を設ける。 ・バス、洗面台及び便所を設ける。	計約200㎡
	客室B (スイートルーム)	・4室(約45㎡/1室)設け、家族及び車いす利用者としても利用する。 ・和室6畳(押入れ付)の続き間を設ける。 ・ベッド、テーブル及び椅子を設ける。 ・バス、洗面台及び便所を設ける。	計約180㎡
	談話スペース 洗濯・乾燥室	・10人程度が利用するものとし、ソファ等を設ける。	適宜 適宜
研修部門	多目的室	・2室に分割して、それぞれ20人程度が利用できるようにする。 ・パーティー、セミナー、サークル活動、ワークショップ等、多目的に利用する。 ・天井の平均の高さは3.5m以上とする。	適宜
	会議室(1)及び(2)	・それぞれ8人程度が利用できるようにする。 ・セミナー、サークル活動等に利用する。	適宜
	パントリー	・多目的室及びレストラン厨房との動線に配慮する。 ・小荷物専用昇降機を設けてもよい。	適宜
	資料室	・コピー機を設ける。	適宜
共用部門	エントランスホール・ロビー	・風除室を設ける。 ・地下1階、1階、2階の空間の連続性を考慮した吹抜け(60m以上)を設け、その吹抜け部分は梁を設けない構造計画とする。 ・周囲の自然景観を取り入れ、明るく開放的な空間とし、ラウンジ、売店及び情報検索コーナーを設ける。	適宜
	レストラン	・40人程度が利用できるようにする。 ・屋外展望テラスと一体的に利用できるようにする。 ・テーブル、椅子等を設ける。 ・厨房、食品庫を設ける。	適宜
	喫茶室	・15人程度が利用できるようにし、カウンターバーを設ける。 ・浴室及び娯楽室との動線に配慮する。	適宜
	浴室	・男性用、女性用、それぞれ10人程度が同時に入浴できるものとし、脱衣室に洗面コーナーを設ける。 ・眺望に配慮する。	適宜
	娯楽室	・機器を使った軽運動やゲームを行う。 ・畳敷き12畳、自販機コーナーを設ける。	約100㎡
	器具庫	・娯楽室に隣接して設ける。	15㎡以上
	フロント	・カウンター、クロックを設ける。	適宜
管理部門	事務室	・5人程度が利用できるようにする。 ・職員の仮眠スペースも含む。	適宜
	厨房事務室	・レストラン従業員の休憩室を兼ねる。	約25㎡
	更衣室	・男性用、女性用として、それぞれ1室設ける。	適宜
	従業員休憩室	・男性用、女性用として、それぞれ1室設ける。	適宜
リネン室		適宜	
設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜	
・便所、エレベーター、通用口、倉庫、ゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 屋外展望テラス(食事やパーティー等多目的に利用する。)は、ホテル利用者が使用するものとして、次のとおり計画する。
 - 地上又は地下1階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで100㎡(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)を確保する。
 - 車いす使用者に配慮して、設置階レベルに計画する。
 - 流し台、テーブル、椅子等を設ける。
- 車回し及び車寄せを設ける。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、送迎用(マイクロバス1台当たり3.5m×7.5m)として1台分、車いす利用者用として1台分、サービス用として2台分を設ける。なお、施設利用者用及び職員用の駐車場は、敷地の南側にある専用駐車場を利用するものとする。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 各部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - 建築物の空間構成においては、敷地内の高低差を有効に活用した計画とする。
 - 北側と南側に広がる良好な景観を、眺望として積極的に取り込んだ計画とする。
 - 敷地の周辺環境に配慮するとともに、勾配屋根の形状を活かした室内空間とする。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 斜面地を考慮した基礎構造、構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設ける。
 - 太陽熱、地中熱、井水、植栽等を利用するなどし、環境負荷低減に配慮する。
 - 自然採光及び自然換気を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。

II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、必要に応じ、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 北側配置図 兼 1階平面図 1/200	① 1階平面図は、敷地の北側の配置図を兼ねるものとする。 ② 地下1階平面図は、南側(上記①以外の部分)の配置図を兼ねるものとする。 ③ 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の計算に必要な程度) ロ. 室名等(客室の表示は、下記⑥ハ.による。) ハ. 要求室の床面積(専用面積を記入する。) ニ. 設備シャフト(パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS))の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等 チ. 直下階の屋根、ひさし等となる部分 ④ 北側配置図兼1階平面図及び南側配置図兼地下1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 屋外展望テラスの面積、テーブル、いす等 ハ. 車回し、車寄せ、駐車場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 道路、植栽等
(2) 南側配置図 兼 地下1階平面図 1/200	⑤ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ⑥ 客室については、次のものを図示する。 イ. 客室A、客室Bそれぞれについて、代表的な1室の室内プラン ロ. 各客室の出入口 ハ. 客室Aの室名(A1からA8)、客室Bの室名(B1からB4)
(3) 2階平面図 1/200	
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、南北方向とし、エントランスホール・ロビーの吹抜けを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 採用した環境負荷低減手法について、必要に応じ、簡潔な文章や矢印等により明示する。 ③ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ④ 南側道路(標高96m)からの塔屋を除く建築物の高さ(平均G.Lは求めなくてよい。)、階高、天井高、地上1階及び地下1階の床高及び主要な室名を記入する。 ⑤ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 研修部門の各室について、その位置とした理由及び多目的室の計画において考慮したこと
 - エントランスホール・ロビーの計画及び吹抜けを活かした空間構成について考慮したこと
 - 客室の計画について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
- 構造計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した「構造種別・架構形式」及び「スパン割り」について考慮したこと並びに、主要な「部材の断面寸法」
 - 斜面地を考慮した構造計画について工夫したこと
 - 勾配屋根の構造計画について工夫したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 吹抜け部分における冬季の空調設備計画において、快適な温熱環境を提供する観点から注意すべき点及びその対応策(空調の吹出口の位置・形式、吸込口の位置等)
 - 環境負荷低減手法として、「太陽熱」、「地中熱」、「井水」のうちから2つ選択し、これらの利用方法及びその省エネルギー効果について考慮したこと
 - 浴室において、採用した給湯方式及び設備計画に考慮したこと